

2020年度 〈第24回〉同窓会総会

獨楽会の事業年度変更に伴い、今年度は、6月13日(土)17時より、ホテルモントレ姫路にて、下記の通り、同窓会総会を開催致します。

また、総会に引き続き、18時より、懇親会を開催致します。どうぞ、併せて、御出席下さい。

残念な事に、2019年度は、新型コロナウイルスの余波にて、卒業式、大学院学位記授与式が中止となり、卒業記念パーティーも開催が叶いませんでした。新獨楽会会員の皆様方に是非、出席頂きたいと思います。

つきましては、同封の「獨楽会総会・懇親会 出欠・委任状」にて、出欠の確認をお願い致します。必要事項を記入の上、6月1日(月)必着にて、獨楽会事務局まで返信の程、よろしくお願い致します。

万障繰り合わせての御参集、よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ・返送先

姫路獨協大学同窓会：獨楽会
〒670-8524 姫路市上大野7-2-1
E-mail: honbu@hdud.gr.jp FAX: 079-223-9263

記
2020年6月13日(土)
総会：17時～ 懇親会：18時～
会場：ホテルモントレ姫路
〒670-0927 姫路市駅前町60
TEL : 079-224-7111

●懇親会参加費用について
〔 2020年 卒業・修了生 〕 御招待
〔 2019～2011年 卒業・修了生 〕 1,000円
〔 2010年～1991年 卒業・修了生 〕 3,000円

尚、今後の感染状況により、実施内容が変更になる事も考えられます。
変更の場合は、6月3日(水)までに、獨楽会HP・Facebookにて、お知らせ致します。

ファミリー専願入試

合格者には、合格時点で「ファミリー制度」が適用され、支援金が支給されます。

条件としては、以下の条件を満たす者で、合格した場合に必ず入学する事を確約出来る者(専願者)とします。

1. 学業成績・人物ともに優れ、校長が推薦する者
 2. 2親等以内の親族が本学を卒業・修了、もしくは、本学に在学中の者
 3. 以下のいずれかを満たす者
 - ①高等学校又は、中等教育学校を卒業した者、及び2021年3月に卒業見込みの者
 - ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び2021年3月に修了見込みの者
 - ③学校教育法施行規則第150条第2号・第3号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2021年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- 詳細は、大学HPにて、御確認下さい。
問い合わせ先：地域連携課(平日9:00～17:00)
TEL: 079-223-6586 FAX: 079-285-0352

「はりま歴史講座」の御案内

今年度のはりま歴史講座は、『播磨における家族の肖像』として、播磨に縁のある人物を取り上げながら、様々な角度より、全10回で「家族の来し方、行く末」について考える講座です。

獨楽会が、播磨会の会員となっておりますので、同窓生の皆様方は、会員価格にて受講が可能です。

受講料10回分：8,000円(播磨会会員価格)
日程・各回のテーマ等の詳細は、大学HPにて御確認下さい。
問い合わせ先：姫路獨協大学 播磨会
TEL・FAX: 079-223-6564
播磨学研究所 <https://harimagaku.exblog.jp/>

「獨協講座」の御案内

姫路獨協大学は、地域の皆様方の学びの場として、「獨協講座」を開講致しております。

人間社会学群・医療保健学部・薬学部・看護学部の教員によって、「外国語講座」・「教養講座」・「健康講座」等の幅



Himeji
Dokkyo University
Alumni Association
Vol.37 2020.5.1
姫路獨協大学同窓会報

2020年 | 第24回同窓会総会
6月13日(土)

会場：ホテルモントレ姫路
総会 17:00～／懇親会 18:00～



姫路獨協大学同窓会事務局 獨楽会
670-8524 姫路市上大野7-2-1 TEL & FAX 079-223-9263
E-mail honbu@hdud.gr.jp URL <http://www.hdud.gr.jp>

看護学部第1期生の皆さんへ 御卒業おめでとう！



看護学部長
井上清美先生

看護学部1期生の皆さん、御卒業おめでとうござい
ます。

皆さんの4年間に亘る学業への努力と成果に、心から
の敬意を表します。本当によく学ばれました。

看護学部は2016年、この歴史ある獨協学園が培つ
てこられた伝統の中に、先輩諸氏・同窓会の皆様・地域
の方々の御支援を受けて、姫路獨協大学の一員として
迎えられ、私達教員も、皆さんと共に育ち合う日々を過
ごしました。

1期生の皆さんには先輩が居られなかった分、私達
教員は、同級生の仲間との結束の強さや、後輩に示す
優しさを頼もしく感じておりました。皆さんは、看護を
学ぶ志をしっかりと持つて、講義・演習・実習と続いた厳し
いカリキュラムでの学修を真摯に積み重ね、国家試験
を乗り越えられました。看護師となられた皆さんの笑顔
と、期待あふれる姿が目に浮かびます。しかし、同時に命に向
き合う医療職種の厳しさも実感されている
ことでしょう。

皆さんは、この度の新型コロナウイルス感染症の世界的なアウトブレイクの影響を受け、学位授与の式典や同窓会の皆様が心を込めて準備下さった卒業パーティー等の行事が中止されると言う残念で心
残りな経験もされました。関わって下さった多くの皆様のお心の中を察しながら、きっとこの経験が先の
皆さんを成長させてくれると信じております。そして、医療職の一員となられた第一歩は、大いなる厳しさ
の中にあるでしょうが、どうぞ、自信と勇気を持って歩んで下さい。

さて、お祝いの思いと共に伝えたい事があります。まず、第一に、時間を大切にして下さい。自分の
時間も、そして、周囲の人の時間もです。特に、社会人には時間管理が大切です。

次に、多様な人の意見に耳を傾けて下さい。社会は大きく変わろうとしています。正解のない色々な問
題に対して、必ず自分自身の意見を持って頂きたいのです。自己の主張に固執するのは困りますが、自分
の考えを大切に、広い視野で物事を考え続け、溢れる情報の中で質を吟味出来る人になって欲しいと思
います。

そして最後に、今の自分があるのは御家族や周囲の人の支援があった事を心に留めて、改めて身近な
方に感謝の思いを伝えて頂きたいと思います。

過去と他人は変えられませんが、あなたの未来は、あなた自身の中にあります。今後も、姫路獨協大学
看護学部で、共に看護を学んだ誇りと喜びを育てて行って欲しいと願っています。そして、同窓会の一員
として、この姫路獨協大学を共に支えて下さいます事をお願いします。

次にお目に掛かるのを楽しみにしています。御卒業、おめでとうございます。



看護学部
2020年卒

黒田実里さん

2016年4月に、看護学科の1期生として入学してから、早4年が
経ちました。覚える事が多く、大変な毎日でしたが、友人と切磋琢磨
しながら、充実した学生生活を送る事が出来ました。

看護学部の特徴と言うと、臨地実習と国家試験が挙げられます。
実習は1年次の後期に始まり、1～2年次の基礎看護学実習が終
わると、3年次では半年間の領域別実習が待っています。

基礎看護学実習では、対象者とコミュニケーションを取り、看護援助の一部を体験しました。実際の医療現場
の雰囲気に圧倒されつつ、緊張しながら対象者の脈拍や血圧を測定したのを覚えています。また、対象者の看
護問題を抽出し、看護計画を立て、実践・評価すると言う看護過程も行ないました。

領域別実習では、成人・老年・在宅・小児・母性の領域別に実習を行ないました。対象者の年齢も違えば、発達段
階も異なり、身体的・精神的・社会的な健康状態も異なります。対象者の個別性に応じた看護援助を実践し、基礎
看護学実習より専門的な看護を学びました。

長い道程と感じた実習でしたが、対象者から「頑張ってね！」、「いい看護師さんになってね！」等の言葉を頂
き、看護師になりたい！と一層強く思う良い機会となりました。

国家試験対策では、低学年から模擬試験があり、基礎知識定着の為の講座も、学年が上がるにつれ増えてい
きます。実習と関連付けて知識・技術を確認し、4年次には模擬試験や対策講座だけでなく、先生方も課題プリント
を配って下さり、良い環境の中で学習出来たと思います。

今後は、初心を忘れず、患者様がこの人に看護されて良かったと思えるような看護師になりたいです。



御卒業・御修了の皆様 独楽会へようこそ！

獨楽会会长 武本鎌治

新たに、姫路獨協大学同窓会：独楽会に皆様を会員としてお迎えする事になり、独楽会会长として、重ねての歓
びを感じております。

令和初の卒業式・学位記授与式であり、また、人間社会学群と看護学部の卒業生を初めて送り出す節目でした。
しかし、柳澤学長より、COVID-19拡大防止の為、皆様方と保護者の皆様の健康や安全面を最優先に考えた結果、
令和元年度卒業式・大学院学位記授与式を中止としたとの連絡がありました。

また、一生に一度しかない重要な節目として開催を予定していた卒業記念パーティーを中止するに至ったのは、
安全を第一に考慮した結果ではありましたかが、苦渋の決断であった事、御理解頂ければと思います。

卒業生・修了生の皆様方には、6月13日(土)に開催を予定している同窓会総会・懇親会に、是非、御参加下さい。
では、改めて、同窓会を代表致しまして、卒業生・修了生の皆様の門出を心からお祝い申し上げると共に、次なる
舞台での御活躍を祈念致します。

御退職教員



人間社会学群：名誉教授

高橋健先生

令和2年3月末を以て大学を退職致しました。

敢えて「令和」と記したのは、私が姫路獨協大学に着任したのが平成元年であり、昨年70歳を迎える予定であったが、「特命教授」として更に1年在職した。別に後悔する訳では無いが、この1年が無ければ、「私は平成の31年間を姫路獨協大学に在職した。」と書けたのであった。

一般教育部→外国語学部ドイツ語学科→法学部→人間社会学群と渡り歩き、倫理学・ドイツ語・総合人間学・生命倫理・医療倫理・演習・文学等を担当した。卒業生の皆さんには、学部と科目の組み合わせに拠って、共に過ごした時代を少しは想い出してくれるかも知れない。また、私は大学で「先生」と呼ばれ、「部長」とも呼ばれた。20年以上、野球部に携わって来たからであろう。

小学校入学以来退職まで、「学校」の中で生活してきた訳であるが、元来私は「勉強嫌い」であった。哲学者西田幾多郎は「自分の前半生は黒板に向かう生徒であった。後半は黒板を背にして教師であった」との意を述べているが、私の場合そんな立派なものではない。謂わば、私は黒板の立ち位置に関係なく、簡単に言えば、勉強嫌いな罰として、長い学校生活を課せられた様なものである。

後悔はない。先ずは多くの学生達、様々な分野の先生方、更に事務職員の方々、また学生の就職先の方々との交わりの中

で、私なりに様々な観点から物事を捉え、私の人生世界が拡がった様に思う。感謝。

獨協大学初代学長天野貞祐先生の「大学は学問を通じての人間形成の場である」と云う言葉を皆さんは入学式・卒業式で耳にされた事と思う。もう少し長く引用してみよう。「人間形成はもともと人間一生の仕事であって、種々の方法によって行なわれる。しかし大学において、人間をつくる道は学問でなければならない。大学は学問を通じての人間形成の場である、というべきである。学問はそれに没頭し努力せねばならぬ。心を統一して、それにうち込む事ほど精神をねり人間を作ることはない。学問的努力によって確かに人間は形成される。意志は鍛錬される。しかもその意志は純粋でなければならない。正直でなければ学問的追求は不可能だからである。」

卒業生の皆さんにとって大切な事は「人間形成はもともと人間一生の仕事であって、種々の方法によって行なわれる。」事であり、「大学」を「職場」「社会」「家庭」等々に、また「学問」を「仕事」「人間関係」「家族関係」等々に置き換えて読む事の意義は大なるものと思われる。

姫路獨協大学で共に過ごした者として、私も天野先生の言葉を常に心に留め、もう少し「人間形成」に励もうと思っている。

書き残した事沢山有れど、私に与えられた文字数を遙かに超えてしまった。しかも、真面目に書き過ぎた嫌い有り。反省。



人間社会学群：名誉教授

山崎恵先生

ペイ・フォワード

ペイ・フォワードは2000年のアメリカ映画『ペイ・フォワード可能の王国』(原題は“Pay it Forward”)からですが、御存知でしょうか。「誰から受けた恩を直接その人に返すのではなく、また別の誰かに先送りして善意を繋ぎ広げて行く。恩送り。』という意味です。

私が本学に着任したのは1997年で、創立10周年を迎えていました。それから23年、外国語学部日本語学科から外国語学科日本語専攻、そして、人間社会学群国際言語文化学類日本語教育・日本文化コースへと所属は変わりましたが、留学生の日本語教育と日本語教員養成に携わってきました。

まず、思い出されるのは1997年に前任者が立ち上げた姫路獨協大学日本語教育ボランティアグループを1999年から引き継いで、日本語教育に关心を持つ学生と共に、2015年3月まで日本語学習支援活動を行なって来た事です。当初は、

ベトナムの方が住む市営市川台団地集会所、更に、県営野里団地集会所でも支援を行ない、その後は、城東公民館へと時の流れと共に場所が変わりました。また、対象も1995年の阪神・淡路大震災で罹災したインドシナ難民の方への支援から始まり、口コミ等でベトナムの方に限らず、徐々に姫路地域在住の外国の方へと変化してきました。

本ボランティアグループの特色は、学生主体と言う事でした。彼/彼女らは学外だけでなく、学内では国際交流俱楽部同好会のメンバーとして獨楽祭・志湧祭等で出展したり、姫路市国際交流フェスティバルにも参加したりしました。留学生に日本の伝統文化の茶道を体験して貰おうと茶道部とのコラボを行なったり、国際交流俱楽部の活動費を捻出する為、志湧祭で韓国のカッパラーメンを販売したりしたのも学生の提案です。

振り返れば、私の本学での日本語教育に関わる実践及び研究は、学生の斬新なアイディアに背中を押されて実行・継続する事が出来たのだと今改めて思います。

3月末をもって退職しましたが、この23年の間に国内外へ巣立って行った学生達が「ペイ・フォワード」を広めてくれる事を願っています。



他職種連携：「チーム医療PBL」in獨協医科大学に参加



医療における様々な専門職の視点・立場において、患者が直面する問題を解決する問題解決型学習である「チーム医療PBL(Problem-Based Learning)」に、医療保健学部(理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科各2名)と薬学部3名の在籍生の計9名が、2019年8月21日から2泊3日の

日程で参加しました。

栃木県の獨協医科大学において行なわれたこの有益な学習に加え、大学附属病院と日光医療センターの見学も叶いました。

また、在籍生以外にも、グループワークの統括や司会、そして、チーフとして、各教育機関から教員8名も加わりました。

このプログラムには、本学在籍生、獨協医科大学医学部・看護学部生の他、栃木県立衛生福祉大学臨床検査学部生も参加し、参加者を3グループに分け、模擬症例について各職種の立場からディスカッションして発表するグループワークも行なわれました。

令和元年度 姫路市大学発まちづくり研究助成事業成果発表会に参加



2020年2月18日(火)、イーグレひめじ「あいめっせホール」で開催された『令和元年度姫路市大学発まちづくり研究助成事業成果発表会』において、医療保健学部：医療情報グループが成果発表を行ないました。

「医療情報グループ」は、臨床工学科准教授の八木直美先

生と学生で構成された研究グループで、研究テーマである「スマートシティ実現のための人工知能システムの開発」の成果発表でした。

具体的な研究内容は、「タクシーサービスの実証実験により、移動需要予測や最適化ルート探索が出来るAIシステムの開発に関する研究」です。

審査委員長による講評では、研究の連携先である姫路市交通計画室が実施した社会実験データを用いて分析した点を評価して頂きました。

教員免許状更新講習の御案内

※詳細は、姫路獨協大学HPで、御確認下さい。

※修了確認期限：受講対象者は該当か否かについては、文部科学省HPにて、必ず御確認下さい。

《お問い合わせ先》

教務部 実習課

教員免許状更新講習担当

TEL:079-223-9158

(平日8:45～17:30 土日祝・大学一斉休業日除く)

FAX:079-241-7840

E-mail:koushin@gm.himeji-du.ac.jp



選択必修領域
「学校カウンセリング」の様子

大学院：「医療マネジメントコース」開設のお知らせ

2020年4月から、経済情報研究科に「医療マネジメントコース」が開設されました。

医療分野で働く社会人や看護系学部の卒業生等、医療の基本的素養を修めた上で更なるキャリアアップを目指す人々を対象として、医療経営学を中心に経済学・経営学・情報学の多方面の分野に亘って高度な学際的学びを提供しています。

姫路獨協大学大学院は、1991年の開設以来、仕事と勉学の両立が可能となるように昼夜開講制が採用されています。また、社会人に対して、特別な選考制度も設けており、入学後

は勤務時間外に受講出来るよう配慮されています。そして、大学院授業の一部は、アクセスが抜群に良い駅前サテライトが活用され、仕事を持つ人でも仕事と大学院を両立させやすくなっています。

希望する専攻に応じて、積極的な研究指導と適切な助言が与えられるよう、担当指導教員が個人別に決められ、それをサポートする体制がとられます。

大学院概要に加え、2021年度大学院説明会及び大学院入試の日程等は、大学HPにて御確認下さい。



人間社会学群2年次
衛藤今日子さん



▶▶▶異文化理解研修に参加して

としても、きっとそれが普通のように感じるよう、色々な人が生活をしています。私は3文化の中で、特に、マレー系について詳しく調べ、最終日にプレゼンテーションを行ないました。

シンガポールのマレー系のほとんどは、イスラム教徒です。他の文化と共存しているからと言って、お祭り事や決まり事が他国のイスラム教徒と違う訳ではありません。また、調べていく内に、イスラム教のお祭りは、マレー系のイスラム教徒だけでなく、イスラム教徒でない他文化の人達も礼拝したり、家族との時間を大切にしたりしている事が解りました。それは、シンガポールでは「国の祝日」として、一つの文化を全員で大切にしている事が解りました。

シンガポールでは、皆が皆、各々の文化を理解し合い、尊重しています。日本と比べてみると、意識していなかったように感じます。今回のこの研修で、表面的な事だけでなく、実際に行く事で、更に深い大切な事が学べたと思います。まだまだ、英語能力は最低限ですが、これからもっと頑張りたいと決意した良い経験となりました。



人間社会学群2年次
福田さくらさん



▶▶▶タイ言語文化・ビジネス研修を終えて

は全て日本語でした。また、タイの学生のガイドで、有名な遺跡であるアユタヤを見る事が出来ました。会話に苦労する事もありましたが、学生達が積極的にコミュニケーションを取ろうとしている姿を見て、本当に、良い刺激を受けました。

そして、タイに進出している神姫バスの企業訪問にも行きました。

タイ日系企業向けのドライバー派遣サービスを始め、日本からの出張者・旅行者へ向けたドライバーと車両をセットにしたチャーターサービス等、様々な活動を展開していました。日本の企業が海外で企業活動を行なうのは簡単ではなく、様々な苦労や問題を乗り越えながら経営なさっているので、海外での大変さを改めて知りました。

今回、沢山の方々に出逢い、新しい文化を学ぶ事が出来ました。この研修での経験をこれからの就職活動に活かして行けたらと思います。

▼ 祝！女子サッカー部：姫路市スポーツ大賞及びスポーツ賞を受賞

姫路市スポーツ賞の表彰式が2月5日(水)、姫路市役所にて行なわれました。これは、2019年にアマチュアスポーツ界において優秀な成績を収めた個人並びに団体に贈られます。

姫路獨協大学から、スポーツ大賞(団体)に、ユニバーシアード競技大会の女子サッカーにおいて、準優勝となった原優香さん(人間社会学群2020年卒)、また、スポーツ賞の銅賞(団体)に、全日本大学女子サッカー選手権大会において、第3位となった女子サッカー部のメンバーがそれぞれ受賞しました。

なお、スポーツ大賞は、オリンピック競技大会での入賞や世界大会で3位以内に入賞した者が対象で、スポーツ賞の銅賞は、全国大会で3位以内に入賞した者や、関西・近畿大会で準優勝もしくは県大会で



優勝した者等が対象です。

表彰式には、大賞の原さんの代理で、本学女子サッカー部の藤谷智則監督と、銅賞の女子サッカー部員12名がそれぞれ出席し、表彰状その他、受賞者全員に、メダルが授与されました。

表彰式では、表彰状及びメダル授与の他、清元秀泰姫路市長や、来賓の挨拶の他、受賞者全員での記念撮影も行なわれました。

▼ 外国語フェスティバルweek

独楽会では、開催に当たり、賞品の支援をしています。

学びの場を与えるべきである在籍生には、エールを送りたいと思います。

【2019年度:韓国語弁論大会】

人間社会学群准教授 中村麻結先生

第14回韓国語弁論大会が、12月14日(土)9時半より、206B教室で行なわれました。人間社会学群・薬学部から、33名が参加し、学習の成果を発表しました。

朗読の部では、4月から学び始めた1年生や、9月から始めたばかりの薬学部生も健闘しました。また、暗誦の部では、ネイティブも感動するような、表現力のある韓国語が響き渡りました。そして、弁論の部では、様々な体験談やこれからの希望について発表し、感動を呼びました。

入賞者の詳細は、右記の通りです。



朗読の部

- 《第1位》大金諒子さん(人間社会学群1年次):「アオガエル」
- 《第2位》小谷正文さん(人間社会学群2年次):「わらじ売りと傘売り」
- 《第3位》津村美羽さん(薬学部1年次):「銀河水から来た男」
- 《神戸教育院長賞》北村月海さん(人間社会学群1年次):「兄と弟」
- 《審査員特別賞》井崎美佑さん(薬学部1年次):「星を数える夜」

暗誦の部

- 《第1位》日比麻理乃さん(人間社会学群1年次):「星を数える夜」
- 《第2位》中島絃也さん(薬学部1年次):「つづじの花」
- 《第3位》串田真輝さん(人間社会学群2年次):「序詩」
- 《神戸教育院長賞》中嶋晴貴さん(薬学部1年次):「つづじの花」
- 《審査員特別賞》山元杏珠さん(薬学部1年次):「昔はまだ知りませんでした」
- 《審査員特別賞》伊藤ちひろさん(薬学部1年次):「つづじの花」
- 《審査員特別賞》和田奈津実さん(薬学部1年次):「序詩」

弁論の部

- 《第1位》生田佳実有さん(人間社会学群2年次):「夢」
- 《第2位》松井香矢さん(人間社会学群4年次):「顔も知らなかった友達」
- 《第3位》山本萌衣さん(人間社会学群3年次):「出会い—自分を成長させてくれるの」
- 《神戸教育院長賞》鮎川夏奈子さん(人間社会学群4年次):「韓国語との出会い」
- 《審査員特別賞》前智也さん(人間社会学群3年次):「友達から学んだこと」

【2019年度:中国語弁論大会】

人間社会学群教授 田村祐之先生

去る12月14日(土)、人間社会学群国際言語学類・外国語学部主催の中国語弁論大会を開催致しました。

今回は朗読の部10名(人間社会学群8名、看護学部看護学科2名)、暗誦・弁論の部3名(人間社会学群2名、人間社会学群国際言語文化学類1名)の計13名が参加し、日頃の学習の成果を披露しました。家事都合にて、参加が叶わなかった学生も居ました。

今回の朗読及び暗誦の課題文は、各々漢詩3首を指定し、参加者に1首を選ばせ、朗読・暗誦して貰いました。各部門の入賞者と以下の通りです。



朗読の部

- 《第1位》長谷川謙哉さん(人間社会学群1年次):「楓橋夜泊」
- 《第2位》石田斐那乃さん(看護学部1年次):「春曉」
- 《第3位》出羽裕貴さん(人間社会学群1年次):「山行」
- 《審査員特別賞》山下達也さん(人間社会学群1年次):「楓橋夜泊」

**暗誦
弁論の部**

- 《第1位》倪暉さん(人間社会学群1年次):「黃鶴樓送孟浩然之廣陵」
- 《第2位》阿部美加さん(人間社会学群1年次):「涼州詞」

▼ 「医療・健康フェア2019」を 開催

2019年度も、10月19日(土)、医療保健学部は、姫路駅北にぎわい交流広場中央地下通路において、「医療・健康フェア2019」を開催しました。

このイベントは、理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・臨床工学科が、各専門分野を活かし、大学で学んでいる健康増進に関する知識や技術を提供し、地域の皆様方に健康的な身体を維持して頂くきっかけを持って頂きたいとして実施となりました。

会場では、理学療法学科は「理学療法士による痛みに対するリハビリテーション」、作業療法学科は「作業療法体験!革細工で作ってみよう!」、言語聴覚療法学科は「聞こえ、飲み込み、脳機能の体験・相談会」、臨床工学科は「AED(自動体外式除細動器)の使い方~もし目の前で人が倒れていたら!~」をテーマに、各学科の教員と学生が専門分野のブースを設け、体験型プログラムを提供致しました。

当日は、200名を超える来場者がおり、盛況の内に終了する事が



出来ました。来場者からは、開催を心待ちにして頂いていたお声があり、「これからも積極的に健康について相談したい」「次回もまた参加したい」との嬉しい御感想と共に、学生の元気で親切な対応への感謝の声が多く寄せられて頂きました。

今年度も開催に向けて計画をしております。開催日程等は、大学HP等で御案内致しますので、同窓生の皆様方の御来場をお待ちしております。

第23回同窓会総会・懇親会の御報告 オール獨協の絆

2019年10月13日(日)に、数年振りに大学を出て、第23回同窓会総会と懇親会を開催致しました。

例年、志湧祭の開催に合わせて、キャンパスでの開催でしたが、折角の機会だから、お酒も…との御意見も賜りましたので、姫路キヤッスルグランヴィリオホテルを会場と致しました。

2019年度は、初の試みとして、独協学園の同窓生の横のつながりを強固にし、「オール獨協の絆」を深める為、独協大学の同窓生にもお越し頂きました。

2020年度も、総会・懇親会として、キャンパスを出ての開催となります。是非、御参集下さいますよう、心より、お願ひ申し上げます。



獨協大学同窓会 近畿支部の集いに参加

2020年2月23日(日)、創設40周年記念を迎えた獨協大学近畿支部の集いに、獨楽会からも、会長・副会長をはじめ4名で参加させて頂きました。

新型コロナウイルスの感染症の影響で、多数のイベントが中止となっていましたが、近畿エリアでは特段の流行が見られなかったとの事で、ハートンホテル西梅田での無事の開催となりました。

さすがの獨協大学！近畿支部ではありますが、山陰・山陽支部の皆様方、そして、遠くNYやフランスからの御参加もあり、昔話の花が満開でした。

今後共、「オール獨協の絆」を強固なものにする為にも、同窓会の集いを共同開催する等の御意見を賜り、より一層、心強く思いました。



同窓会後援 高校生英語スピーチコンテスト開催

県をはじめ大阪府・岡山県・愛媛県・広島県・山口県の高等学校から出場者がありました。

身近な話題から国際関係に至るまで、様々なテーマについてのスピーチでした。

最優秀賞は、私立神戸国際高等学校2年：室田なるみさんの「Let's put an end to child labor」に、また、姫路獨協大学同窓会賞は、姫路市立琴丘高等学校1年：島本夏野さんの「Be a developed country」に贈られました。

2019年度も、「第32回姫路獨協大学高校生英語スピーチコンテスト」が10月6日(日)に開催されました。

総勢23校・37名の応募があり、予選審査を勝ち残った出場者13校・15名が、日頃の練習の成果を見事に披露されました。地元兵



《第7回》のびのびセミナー

医療保健学部講師 仁田静香先生

姫路獨協大学子育て・発達障がいサポート運営委員会では、2020年2月15日に姫路獨協大学同窓会の後援にて、第7回のびのびセミナーを開催しました。

今回のテーマは、発達期に障害のある子供がそれぞれの「ライフステージ」で出来得る事や、目の前に居る子供達の将来を見据え、今、何が出来るかを考える『今一度ライフステージを考える』としました。

当日は、保育士や教員、デイサービス職員・看護師等、発達障害支援に携わる様々な職種の方々や、保護者・地域の皆様等、約120名の参加がありました。

午前中は、本学作業療法学科教員より、重症心身障害児/者や、自閉スペクトラム症等の発達障害児に対して「今やるべき事」について講義を行なわれました。また、午後からは、「LIFEで開く姫路の未来～活力あふれ、人が輝く、生きがい先進都市～」と題して、清元秀泰姫路市長による基調講演を頂きました。その後、特別講演では「思春期と一緒に考える～発達障害のある子どもが大人になるために～」をテーマとして、児童発達支援事業や思春期発達支援事業のサポートに取り組まれている神戸大学大学院保健学研究科の篠川裕子先生に御講演頂きました。

獨楽会：事業年度変更について

獨楽会会長 武本 錠治

平素より、獨楽会の運営に、御協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

この度、獨楽会理事会にて協議を経、6月13日開催予定の第23期総会で「同窓会会則の一部変更」が承認される事を条件として、以下の通り、事業年度を変更する事と致しました。

変更の理由

自動販売機・学生障害保険等の収益事業を廃止し、会計事務が簡素化する事で、事務全般における一層の合理化を図る為。

事業年度変更の内容

現 在:9月1日から翌年8月31日

変更後:4月1日から翌年3月31日

①第23期(従来:2019年9月1日から2020年8月31日)

2019年9月1日から2020年3月31日の7か月間に変更

②第24期

2020年4月1日から2021年3月31日

上記に伴い、同窓会総会の開催を10月から6月へ、同窓生の皆様方にお届けする会報についても、8月から5月へと変更致しました。この度の第37号に御寄稿頂きました皆様方には、急なお願いに御協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

【獨楽会からのお願い】

◎求む！ 同窓会運営委員

同窓会の運営をお手伝い頂けませんか？
2か月に1度のペースで、運営委員会を開催致しております。
御協力、よろしくお願い致します。

○会報への寄稿

同窓会報への寄稿、お待ち致しております。
近況報告はもちろん、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催等、何でも、寄稿頂ければと思います。

◎御注意！

獨楽会では、名簿業者との提携はしておりません！
獨楽会や大学関係者を装い、同窓生の皆様に問い合わせや勧誘があるとの旨、お知らせを頂きます。電話による各種調査も一切実施致しておりませんので、不審な問い合わせ等がありましたら、事務局まで、お知らせをお願い致します。

○住所変更について

転居・住居表示等の変更、また、就職・転職をなさったら、事務局までお知らせをお願い致します。
頂いた情報は、キャリアセンターとも協力して、後輩の就職活動に、役立たせて頂いています。確実に、同窓会報をお届けする為にも、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

【召集のお手伝い致します！】

同期会・ゼミ会・OBOG会の招集は、お困りではないですか？
獨楽会では、会員間の取次サービスを行なっております。召集のお手伝いは、お気軽に、事務局までお問い合わせ下さい。詳細は、獨楽会HPにて、御確認願います。

また、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催に当たり、獨楽会では、支援を致しております。こちらも、お気軽に、お問い合わせ下さい。

《問い合わせ先》

獨楽会本部 <http://www.hdud.gr.jp/>

【獨楽会からの発信！】

大学情報等、Facebookを通じて、御紹介しています。
また、同期会・ゼミ会・OBOG会等の告知でも、御利用頂ければと思います。
同窓生の皆様方の拠り所として、是非、獨楽会を御活用下さい！

♪編集後記♪-----

会計年度の変更で、寄稿頂きました皆様方には、御迷惑をお掛け致しました。何よりも、皆様方の御協力に感謝申し上げます。この会計年度の変更、新たなスタートとして、同窓生の皆様方のお役に立つよう精進する所存です。今後共、一層の御協力、何卒、よろしくお願ひ申し上げます。（姫獨協）